

初めまして！ナタリーです！

問合先 自治振興課

多言語対応職員ナタリー通信

Guten Tag!
[グーテンタグ!]

(ドイツ語で「こんにちは」)

初めまして！4月から泉佐野市役所の多言語対応職員として勤務しているナタリーです。ドイツの田舎で生まれ育ちましたが、子どもの頃から海外や言語に興味を持っていて、様々な国に行ったことがあります。ドイツ語と英語、フ

ランス語、日本語、少しの韓国語とイタリア語を話せます。また、前に広島と京都に住んでいたことがあります。今回は泉佐野に来ました。



◀ナタリーの地元の近くにあるアルプス山 (Alpen)

▶ドイツのビールグラスは1リットルは



みなさんはドイツに行ったことがありますか。行ったことがなくても、ドイツ語の言葉は知っていると思います。なぜなら、ドイツ語は日本語の中でもよく使うからです。例えば、アルバイト(Arbeit)、エネルギー (Energie)、リュックサック (Rucksack)、レントゲン(Röntgen)などは、もともとドイツ語なのです。その一方でドイツ語の中でも日本語の言葉の「絵文字」「カラオケ」「津波」「豆腐」などを使います。

言語のように人々もまた、もしかしたら知らないうちに、様々な文化的影響を受けていると思います。例えば、「広報いずみさの」で毎月の国際交流員の話を読むことで、故郷と世界の他の地域とのつながりを感じることができます。異文化について学ぶことで、その違い以上に、多くの共通点や接点があることをすでに学んでいるのかもしれません。そう考えると、世界が広がるだけではなく、他国との距離が縮まると思います。これから私がドイツやヨーロッパとみなさんを少しでも近づけることができれば嬉しいです。よろしくお願いします。

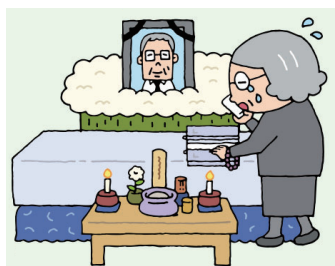
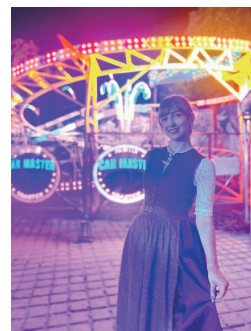
今月のドイツ語

Guten Tag! (グーテン タグ) : こんにちは !

Danke! (ダンケ) : ありがとう !

Prost! (プロスト) : 乾杯 !

▶ドイツの伝統的な服装 (Dirndl) を着ているナタリー



▲イラスト：黒崎 玄

【事例1】
葬儀場において、ドライアイスを敷き詰めた棺桶の小窓を開けたそばで、意識不明の状態で見送られ、搬送先の病院で死亡した。(70歳代)

【事例2】
自宅において、ドライアイスを敷き詰めた棺桶内に顔を入れた状態で発見され、死亡が確認された。(60歳代)

消費生活センターだより

見守りリー

相談受付
午前9時～
午後4時30分相談はお早めに
センターへ!!南海線「泉佐野」駅前
☎469-2240

顔を入れないで！ 棺内のドライアイスで二酸化炭素中毒

【ひとことアドバイス】

●遺体の安置の際に棺内に置かれたドライアイスによる二酸化炭素中毒と疑われる死亡事故が起きています。遺体に話しかけたりする際は、棺内にたまって高濃度となった二酸化炭素を吸い込まないようにしましょう。

●棺は密閉されているわけではなく、そのため、棺内の二酸化炭素は室内に漏れ出ています。十分な換気を行いましょう。

●通夜から告別式の間に、遺族などが寝ずの番（線香番）を行うことがあります。なるべく複数人で見守りましょう。飲酒して酔った状態で棺に近づくのはやめましょう。

●棺の近くにおいて気分が悪くなったなら、すぐに換気の良い場所に移動しましょう。症状があれば医療機関を受診し、緊急性が高い場合は119番通報しましょう。

●棺の窓やふたの開閉などで不明なことがあれば、葬儀業者に確認しましょう。

参考…(独) 国民生活センター
「見守り新鮮情報第477号」

困った時は、消費生活センターにご相談ください。